

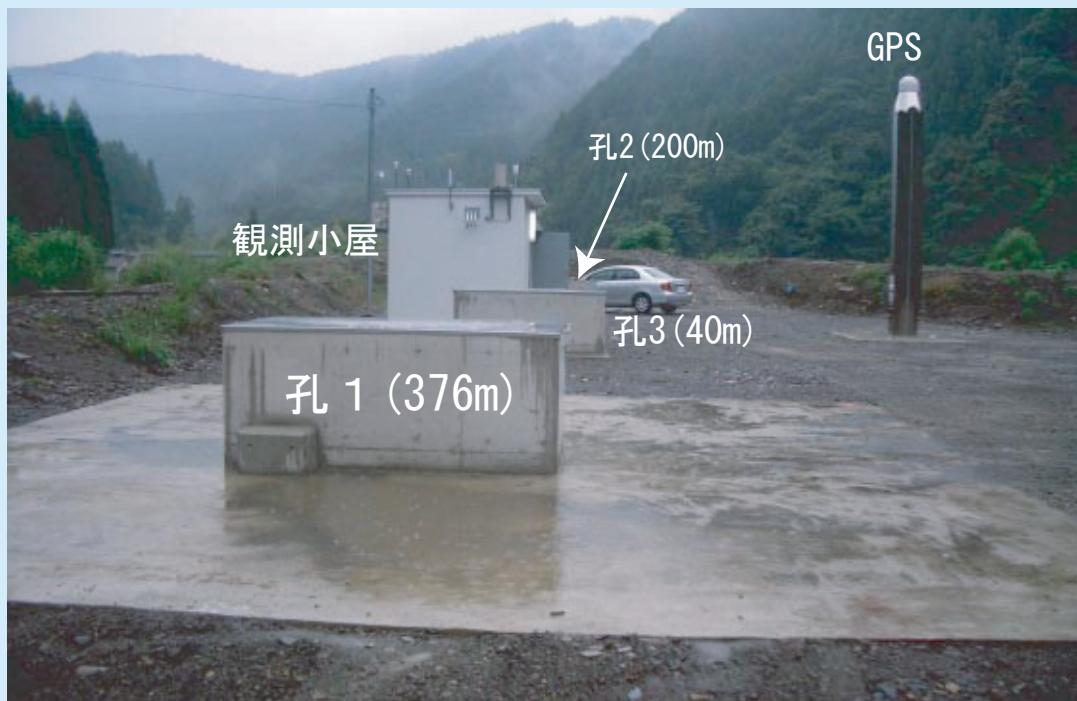
東南海・南海地震予測のための地下水等観測施設

本宮三越観測井

【本施設の目的】

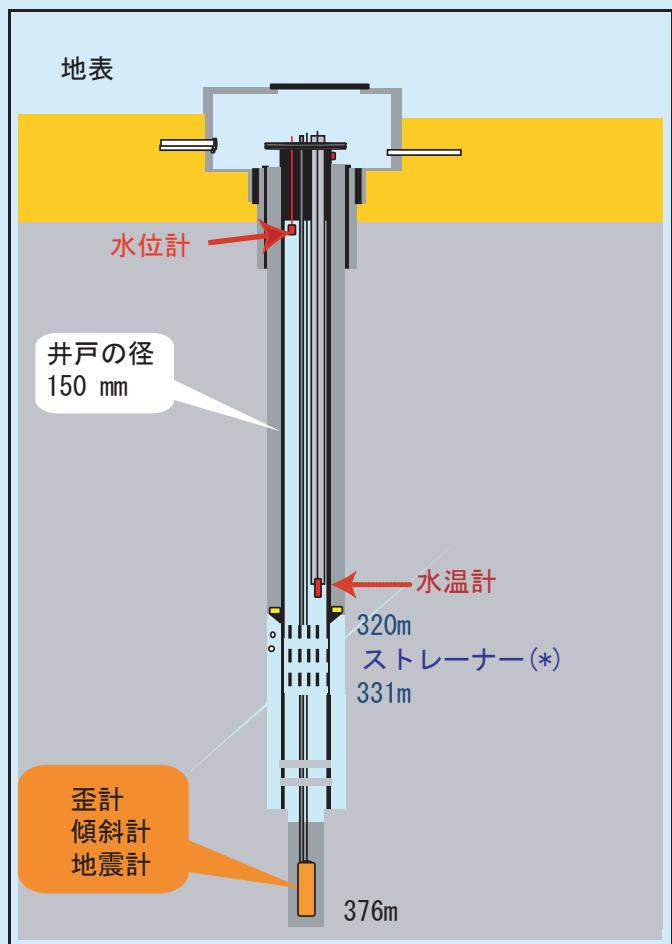
東南海・南海地震は今から約1,300年前までの間に9回の地震記録があり、最近4回の発生間隔は約90～150年です。政府の地震調査委員会による今後30年間の地震の発生確率は、2008年1月1日の時点で、東南海地震で60～70%程度、南海地震で50%程度です。一方、古文書等には、過去の南海地震や東南海地震前後に、本宮町の湯の峰温泉で自噴量が減少したという記述があります。したがって、近い将来に発生が予測されている東南海・南海地震の発生前に、本宮町周辺で地下水変化や地殻変動が生じる可能性があり、本施設を作ることになりました。

本施設には、376m、200m、40mの3深度の観測井（孔1～3）があります。これらの観測井には、地下水に加えて地殻変動・地震の連続観測を行うために、水位計・水温計をはじめ、（地面の伸縮を測定する）歪計や傾斜計・GPSおよび地震計を設置しました。観測データは、地上観測小屋から電話回線により茨城県つくば市にある産業技術総合研究所に転送されます。これらのデータは、四国・紀伊半島・東海地方に設置された他地点での観測データと合わせてモニタリングし、南海・東南海・東海地域の地震予知研究に役立てます。ただし、**この施設は観測研究用であり、防災警報用ではありません。**

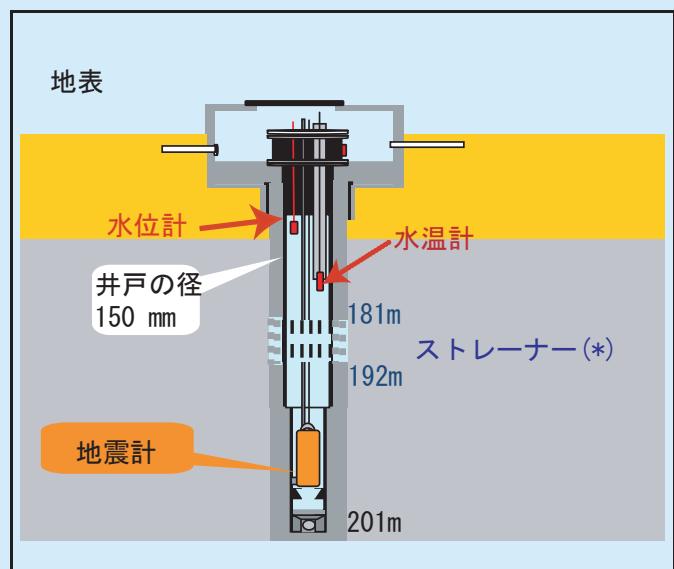


観測井戸の構造

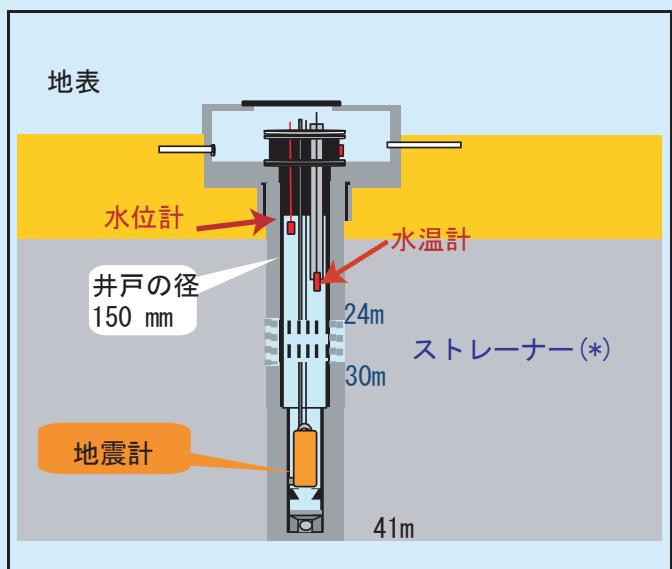
孔 1



孔 2



孔 3



御礼：平成18年7月から平成19年6月までの工事においては、周辺住民の皆様・森林組合の皆様・田辺市役所（本宮行政局・他）・和歌山県庁の方々にご協力頂き無事に観測施設を完成することができました。ここに御礼申し上げますとともに、今後の観測におきましても更なる御協力をいただけますようお願い申し上げます。

観測施設所在地：和歌山県田辺市本宮町三越 本宮町森林組合小径木加工場敷地内

問い合わせ先

産業技術総合研究所 地質調査総合センター 地震地下水研究グループ

電話：029-861-3656 ファックス：029-855-1298 メール：tectono-h1@m. aist. go. jp

データ公開ホームページ

地震に関する地下水観測データベース “Well Web” <http://www.gsj.jp/wellweb/>